

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	07	0404	河原の坊施設管理事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-1	環境の保全			
	施策	2	自然環境の保全			
目的	自然公園施設の適正な維持管理					
対象	早池峰国定公園の登山者					
意図	登山者の利便性を図る。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○自然公園施設の維持管理 河原の坊総合休憩所（駐車場を含む）、早池峰山頂避難小屋、鶏頭山避難小屋、うすゆき山荘						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	河原の坊総合休憩所開館日数	日	計画	170	160	160
			実績	170	160	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
主要地方道紫波江繋線のゲート解放日から閉鎖（H27.5.15～10.21）までの間、自然公園施設の利用者が常に快適な状態において自然公園施設を利用できるように維持管理に努めた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	自然公園の管理については行政が行う必要があり、県は公園施設を設置し、市が県からの委託により施設の維持管理を行っている。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	施設の老朽化に伴い、計画的な修繕を行うことにより、施設の維持が可能となる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費は施設の維持管理であり、削減余地はない。 人件費については、委託事務と現地管理業務のため、削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	対象を特定しておらず、登山者の安全が図られるので公平・公正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
早池峰国定公園内の管理施設は、広範囲に及んでいるが自然公園保護管理員との連絡を密にし、自然公園施設の適正な維持管理に努めるものである。 また、山頂避難小屋の携帯トイレ化が通年化されたことにより、トイレの汲み取りはなくなった反面、すべての登山者に携帯トイレの使用について理解を求めめる必要がある。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 大迫総合支所 課名 地域振興課地域支援室 担当係長 藤原 正己 内線 9-20-220
(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	0404	河原の坊施設管理事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		817	812		△ 5
財 源 内 訳	国・県	817	812		△ 5
	地方債				
	その他				
	一般財源				

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標
豊かな自然と生活環境を守りきらめくイーハトーブはなまきをつくる

事業開始の背景・経緯

県では岩手県自然公園施設等管理要領により、河原の坊総合休憩所と山頂避難小屋について市へ委託し、維持管理している。また、鶏頭山避難小屋とうすゆき山荘は旧大迫町が設置し、市が維持管理している。

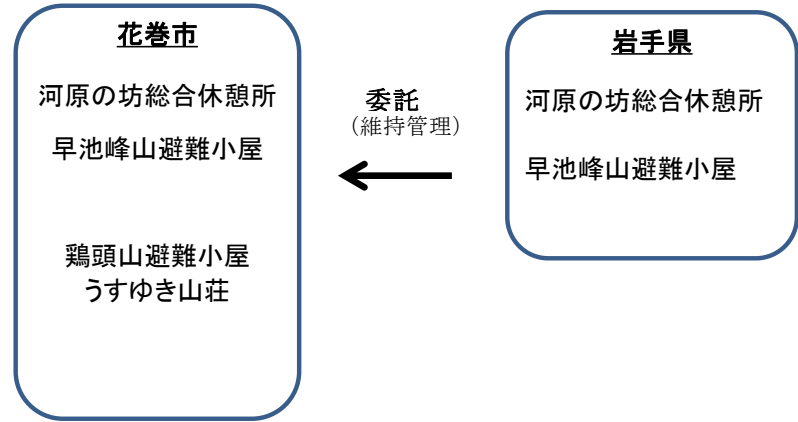
事業概要

○自然公園施設の維持管理
河原の坊総合休憩所（駐車場を含む）、早池峰山頂避難小屋、鶏頭山避難小屋、うすゆき山荘

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

早池峰山頂避難小屋は耐用年数を経過し、長期的な維持管理に問題があり改修等検討を県へ要望していく必要がある。

《事業手法の詳細》



○維持管理
事業費 812千円 (H26 818千円)
設備点検、清掃等管理委託料 469千円、光熱水費等 343千円